

ニューヨーク州における卸・小売業の現況

岩 重 聡 美

第1節 概 況

アメリカ小売業の歴史は、変化と革新をくり返しながら、常にドラスティックに動いている。わが国にみられるような公的規制がないために、競争が活発になるなか、新たな業態をも生みだしているのである。

この小論では、アメリカ東部の代表的都市であるNEW YORKとニューヨーク州における卸・小売業の現状を分析する。

(1) 小売業の推移 (1982年～1987年)

まず、商店数についてみると、1987年におけるNEW YORK州全体では、171,579店である。そのうち、NEW YORK州の中核都市であるNEW YORKにおいては、21,829店であり、州全体の12.7%を占めている。KINGS地区の商店数は、14,712店であり、そのシェアは、8.6%となっている。NASSAU地区をみると、15,387店であり、9%のシェアを示している。QUEENS地区は、15,053店舗であり、8.8%のシ

ェアとなっている。

次に、従業者数についてみると、1987年のNEW YORK州全体の従業者は1,150,448人である。NEW YORK地区では、その数は、185,719人となっており、州全体の約16.1%を占めていることがわかる。KINGS地区においては、64,863人であり、5.6%のシェアである。NASSAU地区においては、118,522人の従業者であり、10.3%のシェアを示している。QUEENS地区においては、74,088人の従業者であり、6.4%のシェアとなっている。

年間販売額は、NEW YORK州全体では、106,452.7百万ドルである。そのなかで、NEW YORK地区をみると、156,28.2百万ドルを示し、そのシェアは、14.7%となっている。KINGS地区では、6,584.7百万ドルであり、6.2%のシェアである。NASSAU地区においては、12,383.3百万ドルとなっており、11.7%のシェアを示している。QUEENS地区をみると、7,038.5百万ドルであり、そのシェアは6.7%となっている。

表1 小売業の概況 (1982年～1987年)

地域別	商店数			従業者数			年間販売額(百万ドル)		
	実数		増減率	実数		増減率	実数		増減率
	1986年	1987年	87/86	1985年	1987年	87/85	1982年	1987年	87/82
NEW YORK	137,155	171,579	25.1	1,109,458	1,150,448	3.7	72266.7	106452.7	47.3
NEW YORK	18,849	21,829	15.8	196,779	185,719	-6.3	10856.5	15628.2	44.0
KINGS	12,053	14,712	22.1	64,781	64,863	0.01	4988.6	6584.7	32.0
NASSAU	12,086	15,387	27.3	116,817	118,522	1.5	8230.5	12383.3	50.5
QUEENS	10,960	15,053	37.3	72,427	74,088	0.3	5111.8	7038.5	37.7

出所) New York, *Country & City Data Book*, 1988, 1994, 1999.

これらの数値からみると、NEW YORK州におけるNEW YORK地区のシェアは、商店数は12.7%、そして、従業者数は16.1%、また年間販売額においては14.7%となっており、いずれの数値をみても、大都市地区への集中度が高いことがうかがえる。

つぎに、NEW YORK州における変化動向をみることにする。商店数については、1986年から1987年における推移をみると、州全体では、25%の増加を示しており、とくに、QUEENS地区での37.3%もの伸びが目立っている。NEW YORK地区においては、15.8%の増加であり、比較4地区のなかでは、最も低い増加率となっている。

従業者数については、1985年から1987年における推移をみることにする。州全体では、3.7%の増加率であるが、いずれの地区も低い伸び率でしかなく、NEW YORK地区では、-6.3%となっていることがわかる。

さらに、年間販売額をみると、1982年から1987年のあいだに州全体では、47.3%もの増加を示し、とくに、NASSAU地区では、50.5%もの非常に高い伸びである。NEW YORK地区でも、44.0%の伸びであり、QUEENS地区の37.7%、そしてKINGS地区の32.0%となっている。

みられるように、1982年から1987年における、

商店数、年間販売額とも、高い伸びをあらわしており、このことは、州全体の経済力が上昇していることがうかがえる。また、従業者数をみemると、商店数、年間販売額の伸びに比べ、非常に低いものにとどまっており、特にNEW YORK地区では、-6.3%の低下を示している。

(2) 卸売業の推移 (1982~1987年)

店舗数をみると、1987年におけるNEW YORK州全体では、41,765店である。そのなかでもNEW YORK地区では、13,165店舗であり、そのシェアは31.5%を占めている。KINGS地区においては、2,716店舗で6.5%のシェアである。NASSAU地区の店舗数は、4,967店舗であり、11.9%のシェアである。QUEENS地区においては、2,836店舗であり、6.8%のシェアを示している。

従業者数についてみると、1987年の州全体における従業者は466,027人となっている。NEW YORK地区では、147,836人を示し31.7%のシェアである。KINGS地区においては、27,614人であり、5.9%のシェアとなっている。NASSAU地区をみると、48,365人であり、10.4%のシェアである。QUEENS地区では、31,990人であり、そのシェアは、6.9%となっている。

表2 卸売業の推移 (1982年~1987年)

地域別	店舗数			従業者数			年間販売額 (百万ドル)		
	実数		増減率	実数		増減率	実数		増減率
	1982年	1987年	87/82	1982年	1987年	87/82	1982年	1987年	87/82
NEW YORK	39,106	41,765	6.8	430,164	466,027	8.3	261217.1	283745.4	8.6
NEW YORK	13,712	13,163	-0.5	154,456	147,836	-0.5	168500.6	161797.3	-4.0
KINGS	2,377	2,716	18.5	25,522	27,614	8.2	7187.7	8918.5	24.1
NASSAU	4,449	4,967	11.6	42,343	48,365	14.2	16179.9	21018.7	29.9
QUEENS	2,554	2,836	11.0	29,106	31,990	6.8	7589.1	9513.9	25.4

出所) 表1と同じ。

ニューヨーク州における卸・小売業の現況

年間販売額は、州全体では283,745.4百万ドルを示している。NEW YORK 地区では161,797.3百万ドルであり、そのシェアは57.0%となっている。KINGS 地区をみると、8,918.5百万ドルで、3.1%のシェアとなっている。NASSAU 地区では、21,018.7百万ドルで、7.4%のシェアである。QUEENS 地区をみると、9,513.9百万ドルであり、3.4%のシェアとなっている。

これらの数値から、州全体における NEW YORK 地区のシェアは、店舗数が31.5%、従業者数では31.7%、年間販売額においても57.0%もの高い数値を示している。

さらに、1982年から1987年の5年間における推移をみると、KINGS 地区、NASSAU 地区、QUEENS 地区の3地区においては、店舗数、従業者数、年間販売額とも増加をしているが、NEW YORK 地区においては、それらはいずれも低下していることから、NEW YORK 地区における卸売業の地位の低下がうかがえる。

(3) 個人収入の推移 (1980年～1990年)

NEW YORK 州全体における1990年の個人収入をみると、398,365.8百万ドルである。そのうち NEW YORK 地区では、57,782.8百万ドルであり、14.5%のシェアを占めている。KINGS 地区は、38,682.9百万ドルで9.7%のシェアである。NASSAU 地区をみると、40,745.2百万ドルで、そのシェアは、10.2%となっている。QUEENS 地区においては、40,428.1百万ドルで10.1%のシェアになっている。

1980年から1990年における推移をみても、州全体で111.5%もの高い増加率を示し、各4都市においても同様の高い伸びであることがわかる。

いずれの数値からも、州全体における NEW YORK

表3 個人収入の推移 (1980年～1990年)

地域別	実数 (百万ドル)	増減率	実数 (百万ドル)	増減率
	1984年	84/80	1990年	90/80
NEW YORK	254,334.8	41.3	398,365.8	111.5
NEW YORK	29,739.4	39.8	57,782.8	137.9
KINGS	26,112.1	41.0	38,682.9	100.6
NASSAU	26,898.6	43.4	40,745.2	115.1
QUEENS	28,337.7	42.4	40,428.1	98.5

出所) 表1と同じ。

地区の占める割合は、非常に高く、NEW YORK 地区の経済力の強さを示しているといえよう。

(4) 失業率の推移 (1986年～1990年)

NEW YORK 州全体における1986年の失業率は6.3%であり、NEW YORK 地区は7.0%、KINGS 地区では8.6%、NASSAU 地区においては4.0%、そして QUEENS 地区においては6.3%となっている。

1990年における失業率は、州全体で6.9%、NEW YORK 地区で8.0%、KINGS 地区では10.3%、NASSAU 地区では4.1%、そして QUEENS 地区においては7.6%との数値である。

1986、1990年といずれの年においても失業率の最も高い地区は、KINGS 地区であるが、他の3地区においても、失業率の増加は明らかである。

表4 失業率の推移 (1986年～1990年)

地域別	失業率	
	1986年	1990年
NEW YORK	6.3	6.9
NEW YORK	7.0	8.0
KINGS	8.6	10.3
NASSAU	4.0	4.1
QUEENS	6.3	7.6

出所) 表1と同じ。

表5 面積、行政人口・人口密度の推移（1986年～1992年）

地域別	面積 (百万km ²)	行政人口			人口密度(人/百万km ²)	
		実数		増減率	実数	
		1986年	1992年	92/86	1986年	1992年
NEW YORK	47,377	17,772,000	18,109,491	1.9	375	383
NEW YORK	22	1,478,000	1,489,066	0.7	67,182	52,432
KINGS	70	2,293,200	2,286,167	-0.1	32,760	3,248
NASSAU	287	1,323,000	1,302,067	-0.2	4,610	4,540
QUEENS	109	1,923,300	1,951,034	1.4	17,645	17,834

出所) 表1と同じ。

(5) 行政人口の推移（1986年～1992年）

NEW YORK州全体の人口は1992年で18,109,491人である。そのうち、NEW YORK地区の人口は1,489,066人で、8.2%のシェアを占めている。KINGS地区においては、2,286,167人で、12.6%のシェアである。NASSAU地区では、1,302,067人であり、7.2%のシェアとなっている。QUEENS地区においては、1,951,034人で、10.8%のシェアである。

1986年から1992年における推移をみると、NEW YORK州全体では、わずか1.9%の伸びしか示しておらず、NEW YORK地区においては、0.7%の増加にとどまっており、他の3地区ではいずれも低下していることがわかる。このような行政人口の減少、ならびに伸び悩みは、NEW YORK州全体の小売業にとっては明るい要因とはいえない。

人口密度をみると、1992年の州全体における1マイル当たりの人口は383人であるが、NEW YORK地区のそれは、52,432人と非常に高くなっている。KINGS地区においては3,248人、NASSAU地区では4,540人、QUEENS地区では17,834人と高い数値となっている。

みられるように、NEW YORK地区では、行政人口の伸びは低いものの、その人口密度は依然として非常に高く、その地区に購買力が集中していること

もうかがえよう。

(6) 人的効率（1987年）

NEW YORK州における小売業の人的効率についてみると、1987年では、従業者1人当たり、92,531.5百万ドルである。NEW YORK地区では、84,149.7百万ドルであり、KINGS地区においては92,531.5百万ドルである。NEW YORK地区では、84,149.7百万ドルであり、KINGS地区においては10,157.1百万ドル、NASSAU地区では104,481.0百万ドル、そしてQUEENS地区では95,001.9百万ドルといずれの地区においても人的効率が非常に高いことがわかる。

表6 人的効率（1987年）

NEW YORK	92,531.5(百万ドル)
NEW YORK	84,149.7
KINGS	101,517.1
NASSAU	104,481.0
QUEENS	95,001.9

出所) 表1と同じ。

第2節 NEW YORK州全体の現況

(1) NEW YORK州の概況（1997年）

NEW YORK州における1997年の行政人口は、18,137,126人であり、1990年から1997年に至る推

ニューヨーク州における卸・小売業の現況

移では、わずか0.8%ほどの伸びにとどまっている。1 km²当たりの人口密度は148.3人である。個人収入については、1997年現在においては、529,904百万ドルであり、1995年から1996年における増加率は4.9%である。さらに、失業率についてみると、6.4%の数値を示している。

(2) NEW YORK 州における小売業の商店数・
従業者数・年間販売額 (1992年)

NEW YORK 州全体における小売業の商店数は185,607店であり、従業者数は1,088,429人となっている。また、年間販売額は122,649.4百万ドルであり、1992年の人的効率は112,684.8百万ドルとなる。さらに、1992年における年間販売額の内訳をみると、総計122,649.4百万ドルのうち、General Merchandise Stores が12,253.0百万ドルで約10%のシェアを占めている。Food Stores は25,120.9百万ドルで20.5%を占めている。Apparel & Accessory Stores は9,622.6百万ドルで7.8%のシェアである。Eating & Drinking Stores は13,136.8百万ドルで10.7%のシェアを占めている。みられるように、NEW YORK 州全体においては、Food Stores が最も多くシェアを占めており、次いで、Eating & Drinking Stores, General

表7 NEW YORK 州の現況 (1997年)

面積 (km ²)	122,310
人口 (人)	18,137,126
人口密度 (人/km ²)	148.3
人口推移: 1990~1997 (%)	0.8
個人収入 (百万ドル)	529,904
個人収入の推移: 1995~1996 (%)	4.9
失業率 (%)	6.4

出所) 表1と同じ。

表8 NEW YORK 州における小売業の商店数・
従業者数・年間販売額 (1992年)

商店数	185,607
年間販売額 (百万ドル)	122,649.4
従業者数	1,088,429
人的効率 (百万ドル)	112,684.8

出所) 表1と同じ。

表9 小売業年間販売額の内訳 (1992年)

(百万ドル)

General Merchandise Stores	12,253.0
Food Stores	25,120.9
Apparel & Accessory Stores	9,622.6
Eating & Drinking Stores	13,136.8
Total	122,649.4

出所) 表1と同じ。

Merchandising Stores, そして Apparel & Accessory Stores となっていることがわかる。

第3節 まとめ

NEW YORK 州における卸・小売業の実態について1982年から1997年にかけて分析を試みてきた。

まず、行政人口においては、州全体の増加率は、ほんのわずかの増加しか示しておらず、NEW YORK 州の卸・小売業を取り巻く要因としては決して明るいとはいえず厳しい方向に向かうのではないかと予想される。

次に、小売業の商店数、従業者数、ならびに年間販売額についてみると、商店数、年間販売額とも非常に高い伸びを示している。とくに、年間販売額の増加率は著しく、これは個人収入の高い伸びとも密接に関わっているものと思われる。従業者数についてみると、その増加率は非常に低く、NEW YORK 地区に限っていえば、減少傾向にある。こ

のことは、失業率が増加していることを考慮すると、納得のいく現象といえよう。

卸売業における店舗数、従業者数、年間販売額の動向をみると、NEW YORK 地区に限って、いずれの数値も減少していることが明らかになった。

これらのことから、NEW YORK 州における小売業の多くの指標においては、いずれも高い伸びを示しており、この傾向は当分の間、つづくものと予想される。

さらに、NEW YORK 州のなかの NEW YORK 地区に限っていえば、わずかながらの面積のなかで人口はわずかながらも増加しており、人口密度は他の3地区には比べようもない程高いものとなっている。また、小売業の商店数、年間販売額とも非常に高いことから、州内における NEW YORK 地区の圧倒的な強さがうかがえる。